



第2回 鹿児島県SSH交流フェスタ 特集

11月13日(金)に霧島市の第一工業大学を会場にして「SSH交流フェスタ」が行われました。「SSH交流フェスタ」とは、鹿児島県内のSSH指定5校を中心とした「課題研究合同発表会」のことです。



昨年度は、各校の2学年全員が参加した大規模な発表会でしたが、今年度は新型コロナウイルス感染症防止のため、ステージ発表班のみ参加となりました。座席も間を空けて「密」にならないように配慮しています。

このような状況でも、各学校の発表のレベルは高く、昨年度以上に充実した発表会になりました。

鹿児島中央高校のステージ発表班の紹介です。

① 「振動発電とその応用について」

通称「振動班」 迫・村上・樋高・米丸(敬称略)



振動のエネルギーを電気エネルギーに変換する方法について、自作の実験モデルを提示しながら工夫された発表を行いました。

② 「抗菌効果パワー」

通称「抗菌班」 東山・三浦・池田・上林山



細菌を寄せ付けない効果をもつ身近な食品について発表しました。発表は英語で行われ、レベルの高いプレゼンテーション力に会場がざわめきました。

③ 「アサガオが1番育つ条件」

通称「アサガオ班」 藤山・下舞・牟田・中村



音楽等によってアサガオの成長が変化するというユニークな研究です。植物の世話と観察を毎日続ける必要がある根気のいる研究でもあります。

英語で行われた発表は、サブスクリーンに日本語訳を提示して、発表内容を会場全体が共有できるようにしました。

今年度、ポスターは掲示だけになりました。鹿児島中央高校の研究テーマは、幅広く様々な分野から考えられており、ポスター作成がうまいと高評価でした。



5つの研究班が、ポスターを掲示しました。

「方言コスプレ」 前園・久保山・坂田・高田

「青ペン暗記法の効果」 椋尾・兒玉・富吉

「テニスの声の大きさとストローク」 吉ヶ島・伊地知

「エビから作る接着剤」 寺師・平原・白石・森

「空気の濃度とおいしさの関係」 鹿倉・有馬

2学年の皆さん、いろいろな発表会で自分の研究を発表できるように、研究をさらに深めていきましょう。